



自ら考え、育つ力を！

園長 吉羽 優子

酷暑と呼ぶのにふさわしい夏休みでしたが、皆様お元気でお過ごしたでしょうか。そろりばたけのヒマワリがかわいらしく咲きました！8月は熱中症アラートやWBGT（暑さ指数）とにらめっこしながら、熱中症に気を付けてプール遊び・水遊びを楽しみました。夏休み前に顔に水がかかるのが苦手だった子も、顔をつけるばかりでなく潜ることができるようになって目を見張るほどの成長ぶりです。毎日の経験の積み重ねが自信につながっています。

さて、高校野球で107年振りに慶応高校が優勝を収めたニュースが世間を驚かせました。野球に関心のない私ですら、決勝戦の行方を見守り、両チームの選手がひたむきに野球に取り組む姿勢に感激しました。慶応野球部の方針は「自由で伸び伸び」「エンジョイベース・ボール」と言われますが、その中にも「自分たちで考え、判断して試合を構成する力がある」と報道されていました。どこかで聞いたことのある言葉と思ったときに幼児教育で育てたい力と同じだ！と気付きました。森林監督は以前から「ちょっと遠回りになっても、選手に考えさせて、試行錯誤して最終的に自分で掴んだものが真の力になる」という考えをもち、指導していたということです。まさに、幼児教育が大切に、日々行っていることと同じです。自分の頭で考え、手を動かし、失敗を繰り返しながらも成功したときの達成感や喜びはひとしお！大きな自信につながります。このような経験を積み重ねていくことで自分の力（真の力）となっていくのです。おりしも、2024年度から文部科学省が幼児教育の効果の追跡調査を初めて実施するそうです。幼稚園・保育園で受ける教育が、小学校4年生までの学力にどうつながるか、大学進学後や社会人として稼ぐ力にどのような影響があるかなど長期的に追跡するという内容だそうです。幼児期の教育が子どもたち一人一人のウェルビーイングな人生となるよう、柳町こどもの森では、これからも発達や年齢に合わせてきめ細やかな教育・保育を行ってまいります。

2学期は運動会、こども劇場をはじめ、様々な行事がたくさんあります。日常の遊びや生活での経験を行事に生かしていきたいと思っています。今学期も園と家庭で手を取り合いながらお子さんを育ててまいります。よろしく願いいたします。

【食育活動 トウモロコシの皮むき体験

～うんとこしょ！なかなかむけないね～】

